

# 臨床治験審査委員会 報告書

平成 30年 7月 23日

高松赤十字病院長 様

委員長 黒川 幹夫

開催日時	平成30年7月13日(金) 16:40~17:08		
出席者(委)	黒川幹夫、外山芳弘、石川順英、高杉淑子、六車浩史、西岡真喜子、村井由紀子、榎本典昭、藤川唯啓、後藤良子、多田玲子		
欠席者	大山知代、大橋博美、		
オブザーバー	柴崎 光成	事務局	医事課 多田玲子
前回討議 進行状況			
	項目	審議結果	
報告事項	1	前回臨床治験審査委員会報告書について	—
討議事項	1	「新規」日本イーライリリー株式会社の依頼による従来治験及び生物学的製剤が不良な中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたLY3074828【I6T-MC-AMAN】の第Ⅲ相試験について ①治験実施の適否について審議した。	①審議結果：承認 (尚、黒川委員長は、審議・採決には参加していない。)
	2	「新規」日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたLY3074828【I6T-MC-AMBG】の第Ⅲ相試験について ①治験実施の適否について審議した。	①審議結果：承認 (尚、黒川委員長は、審議・採決には参加していない。)
	3	バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病(DKD)と診断された2型糖尿病患者を対象とした腎疾患に関するBAY 94-8862(finerenone)の第Ⅲ相試験について ①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	①審議結果：承認
	4	バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病性腎臓病(DKD)と診断された2型糖尿病患者を対象とした心血管系疾患に関するBAY 94-8862(finerenone)の第Ⅲ相試験について ①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	①審議結果：承認
	5	ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたCNT01275(ウステキヌマブ)の第Ⅲ相試験について ①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。	①審議結果：承認 (尚、黒川委員長は、審議・採決には参加していない。)
	6	E Aファーマ株式会社の依頼による中等症の日本人活動期潰瘍性大腸炎を対象としたE6007の第2相試験について ①治験に関する変更申請書が提出され、治	①審議結果：承認

		験実施計画（その他（リーフレット））の変更についての妥当性について審議した。	
	7	<p>フェリング・ファーマ株式会社の依頼による軽症～中等症の活動期潰瘍性大腸炎患者に対するFE 999315の第Ⅲ相試験について</p> <p>①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p> <p>②治験に関する変更申請書が提出され治験実施計画書の変更についての妥当性について審議した。</p>	<p>①審議結果：承認 （尚、黒川委員長は、審議・採決には参加していない。）</p> <p>②審議結果：承認 （尚、黒川委員長は、審議・採決には参加していない。）</p>
	8	<p>バイエル薬品株式会社の依頼による子宮筋腫患者を対象とした BAY 1002670（vilaprisan）の第Ⅲ相試験について</p> <p>①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>	①審議結果：承認
	9	<p>小野薬品工業株式会社の依頼による慢性心不全に対する ONO-1162 の第Ⅲ相試験について</p> <p>①安全性情報等に関する報告書が提出され、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。</p>	①審議結果：承認